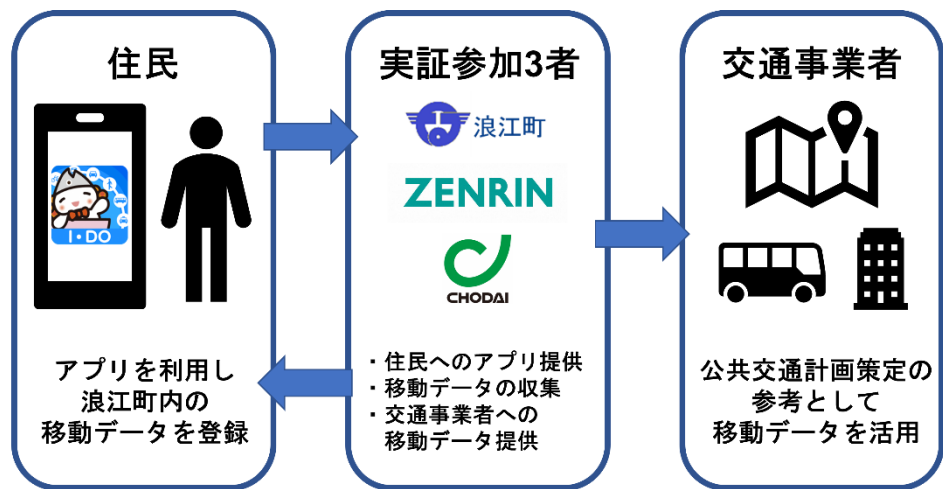


2022年9月29日

浪江町
株式会社ゼンリン
株式会社長大

福島県浪江町において 「なみえ I・DO (いどう) プロジェクト」の実証実験を実施 ～スマートフォンアプリを活用し、各種移動データを収集～

浪江町（福島県双葉郡浪江町、町長：吉田栄光）、株式会社ゼンリン（福岡県北九州市、社長：高山善司、以下「ゼンリン」）および株式会社長大（東京都中央区、社長：野本昌弘、以下「長大」）の3者は、浪江町内への MaaS 社会実装及び事業化の実現へ向け、「なみえ I・DO (いどう) プロジェクト」の実証実験を実施します。10月7日より提供を開始するスマートフォンアプリ「なみえ I・DO アプリ」を活用し、住民の公共交通の利用頻度向上を目指すとともに、アプリで得られる移動データから住民の移動需要および傾向を把握し、誰でも自由に移動できるまちづくりを進めます。なお、本実証は経済産業省の「地域新 MaaS 創出推進事業」の一環として実施するものです。



■「なみえ I・DO プロジェクト」背景・概要

福島県浪江町は 2011 年の東日本大震災以降、全域に避難指示が発令されていましたが、2017 年 3 月に一部地域の避難指示が解除され、復興への様々な取組を進めてきました。2021 年 2 月には複数の企業や自治体と共に「福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」を締結し、新たなモビリティサービスの実装に向けた実証を重ねてきました。これらのサービスの自律的な運行を維持するためには、住民の公共交通機関の利用を促進する必要があります。

本実証では、ポイントサービスやイベント情報の配信機能を持つスマートフォンアプリを提供し、地域の人々の外出機会の創出や地域の活性化を目指すとともに、アプリで人の移動データを個人が特定されない形で蓄積し、得られたデータを活用することで、誰でも自由に移動できるまちづくりを進めます。

■「なみえ I・DO アプリ」10月7日より提供開始

地域のイベント情報の確認や、移動距離や手段に応じて各種特典との交換が可能になる”ポイント付与サービス”を、スマートフォンアプリ「なみえ I・DO アプリ」にて提供します。アプリは10月7日から12月22日までの期間限定で利用可能です。

【「なみえ I・DO アプリ」でできること】

◆活動履歴の記録/ポイント交換

1日の移動履歴を「徒歩」、「滞在」、「自動車」、「自転車」といった様々なジャンルごとに登録できます。記録した移動データはポイントに変換され、移動が楽しくなる各種特典と交換することができます。



▲「活動履歴」画面では、1日の移動履歴をジャンルごとに確認できます。移動データはポイント化され、各種特典との交換が可能です。

◆町内で開催される各種イベント情報の確認



▲浪江町のイベント情報を確認できます。



▲「なみえ I・DO アプリ」アイコン

■今後の展望

アプリから得られる住民の移動データを収集し、交通事業者・地域事業者等に提供することで、誰でも自由に移動できるまちづくりを進めます。また実証終了後は、実証結果の地域課題解決への効果検証を行うとともに、将来的な他地域への横展開の可能性を検証します。